

ANNUAL REPORT 2015



まちづくり&組織の活性化
ファシリテーション

SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。

◆ What's Social acty ? ◆

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。
そして、社会全体もいきいきしてくる。」
そんなことを願っています。
そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。
それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。
Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。
能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。
まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。
ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。



若者と女性

小学生、中学生、高校生、大学生、
女性に参加する場をファシリテート



- ・男女共同参画の視点から見たHUGやファシリテーション・セミナーで講師を務めました。
- ・自然の大切さを知るプロジェクトを考案し、子どもたちにも体験してもらいました。
- ・子どもは社会の宝で未来への希望であること、女性のパワーを改めて感じました。

多様性センスを
磨くHUG
(避難所運営ゲーム)

こども会議

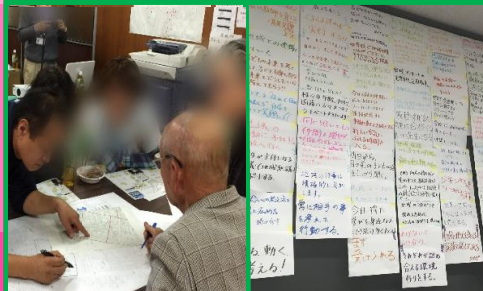
子どもと大人の 合同 ワークショップ

地域の輝く 女性リーダー セミナー

みつばち プロジェクト など

対話と合意

対話の場、会議、シンポジウムの
場をファシリテート



- ・フューチャーセッションやワールドカフェ・イベントだけでなく、シンポジウムや会議も参加者のみなさんが意見交換できるよう、対話を中心としたプログラムにしました。
- ・対話の後、参加者全員が参加して合意を創っていききました。
- ・じっくりといろいろな人と話し合い、合意する過程を見える化することが求められていたのだと感じました。

自治基本条例 シンポジウム

フューチャー セッション

ワールドカフェ 20年イベント

農福連携 ネットワーク会議

公園デザイン・ ワークショップ など

R&D

Research



- ・2014年に行ったごみ減量に関する意識調査について、さらに研究・分析を続け、学会で報告しました。
- ・ファシリテーションのスキルを活用した6回の研修での受講者意識を調査しました。
- ・いよいよアクティブ・ラーニングの導入が始まります。大学の講義で試みをしたり、小学校で研修をしたりしました。ファシリテーションのマインドやスキルが必要とされますが、さらに授業という短い時間の中でのプログラムづくりがカギとなりました。

学会報告

ファシリテーション の効果調査

Development

合意形成手法 の開発

アクティブ・ ラーニング

◆ 2015年 ふりかえり

「ワールドカフェ」という対話による話し合いの方法が考案されて20年となりました。メンバーチェンジをしながら対話をしていき、最後にハーベストと呼ばれるまとめをします。2015年はワールドカフェのイベントを開催したり、活用したりする機会が多かったです。

対話のもつパワー、メンバーチェンジすることの意義を感じる年となりました。

また、最後のハーベストの進め方次第で、すんなりと合意形成ができてしまうということも少なからず体験することができました。

2016年は、これらの経験とノウハウの活用と共有、そして、さらなる進化を目指してまいります。